

ALL
SHIMANE



島根総合診療専門医育成ネットワーク



島根県観光キャラクターしまねっこ
島観連許諾第9241号

Vol.9

長寿社会の医療を島根で学ぶ

総合診療医

～次世代の地域医療を担う医師募集～



プログラムの紹介	01
島根県内の専門研修施設群	02
島根総合診療専門医育成ネットワークの年間の取り組み	04
先輩からのメッセージ	06

施設紹介

松江生協病院	08
松江赤十字病院	10
島根大学総合医療学講座・ 大田総合医育成センター	12
島根県立中央病院	14
出雲市民病院	16
出雲徳洲会病院	18
雲南市立病院	20
済生会江津総合病院	22
仁寿会加藤病院	24
益田赤十字病院	26
橘井堂津和野共存病院	28
あとがき	30
島根県について、アクセス	31

プログラムの紹介

専門医制度の概要

出典 <https://jmsb.or.jp/ippan/>

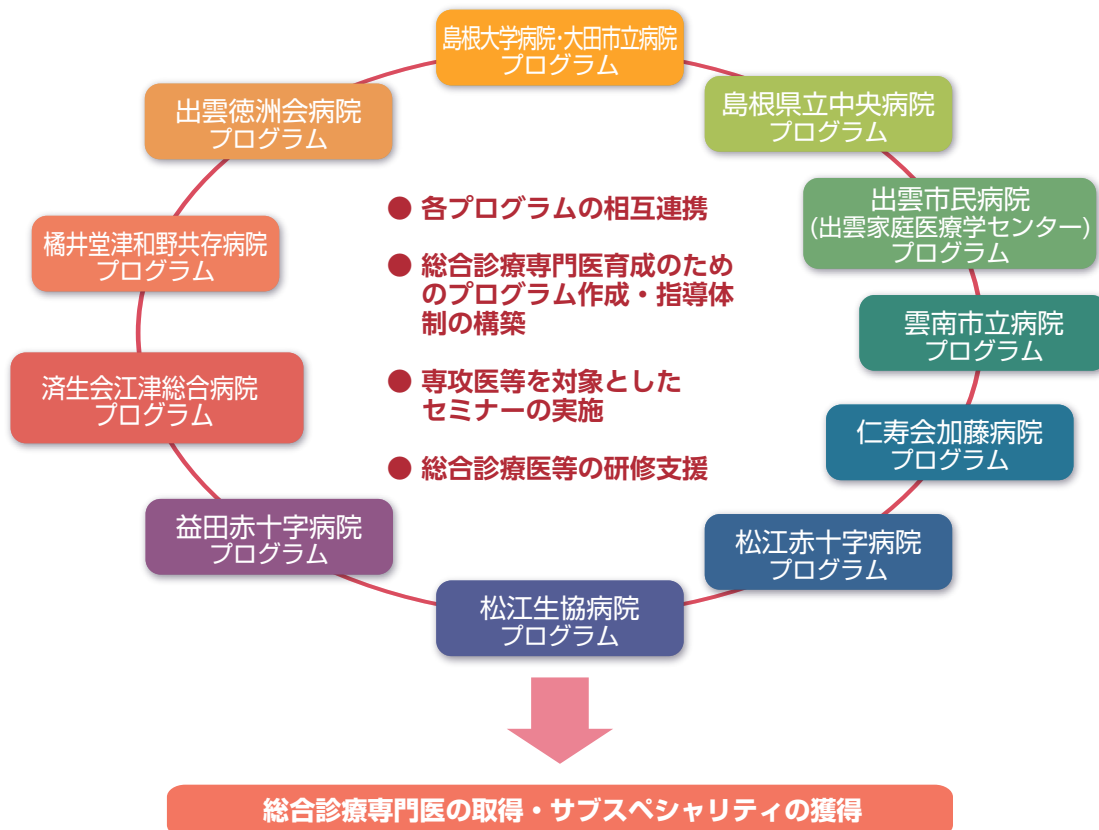
基本診療領域（19領域）	サブスペシャリティ領域（31領域）	
	令和7年12月19日現在の認定領域	
内科 小児科 皮膚科 精神科 外科 整形外科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 泌尿器科 脳神経外科 放射線科 麻酔科 病理 臨床検査 救急科 形成外科 リハビリテーション科 総合診療	連動研修を行い得る領域 (連動研修方式または通常研修方式)	消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 血液 内分泌代謝・糖尿病内科 脳神経内科 腎臓 膠原病・リウマチ内科 消化器外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 乳腺外科 放射線診断 放射線治療
	連動研修を行わない領域 (連動研修方式)	アレルギー 感染症 老年科 腫瘍内科 内分泌外科
	少なくとも1つのサブスペ領域を修得した後に研修を行い得る領域 (補完研修方式)	肝臓内科 消化器内視鏡 内分泌代謝内科 糖尿病内科 放射線カテーテル治療
	連動研修を行わない領域 (連動研修方式)	集中治療科 脊椎脊髄外科 新生児 小児循環器 小児神経 婦人科腫瘍

専門研修プログラムおよびそれ以降の進路

▼総合診療専門医試験受験

卒後年次	1	2	3	4	5	6～
研修区分	臨床研修 (臨床研修医)		専門研修 (専攻医)			サブスペシャリティ研修 (基本領域との連動研修可) (専門医)
研修施設	臨床研修指定病院		専門研修施設群 (基幹施設、連携施設)			大学病院・県内外施設

総合診療専門医育成の取組み



専門研修施設群の連携

基幹施設と 専門研修施設群の 連携状況

凡例	
太字	基幹施設
細字	連携施設
	臨床研修指定病院

	基幹施設										
	松江生協病院	松江赤十字病院	島根大学 医学部 附属病院	島根県立 中央病院	出雲市 市民病院	出雲徳洲 会病院	雲南市 立病院	仁寿会 加藤病院	済生会江 津総合病院	益田赤 十字病院	橋井堂津 和野共存病院
	松江生協病院			○							
	松江赤十字病院	○		○	○			○		○	○
	松江市立病院	○		○	○			○			
	安来市立病院				○			○			
	JCHO玉造病院								○		
	島根大学医学部附属病院					○	○	○	○	○	
	島根県立中央病院	○		○		○	○	○	○	○	○
	出雲市民病院	○		○							
	出雲徳洲会病院			○							
	出雲市立総合医療センター			○							
	斐川生協病院					○					
	大曲診療所	○		○		○					
	雲南市立病院	○		○							
	平成記念病院			○							
	町立奥出雲病院			○			○				
	掛合診療所						○				
	飯南病院			○			○				
	恵和会石東病院			○							
	上垣病院			○							
	大田市立病院			○		○					
	仁寿会加藤病院			○	○				○		
	在宅復帰強化型介護老人保健施設仁寿苑							○			
	公立邑智病院				○			○	○		
	花田医院							○	○		
	船津内科医院							○	○		
	済生会江津総合病院			○	○						
	清和会西川病院										
	浜田市国民健康保険弥栄診療所	○		○	○						
	国立病院機構浜田医療センター				○				○		
	浜田市国民健康保険あさひ診療所				○						
	浜田市国民健康保険健波佐診療所				○						
	益田地域医療センター医師会病院				○					○	
	益田赤十字病院			○	○						○
	正光会松ヶ丘病院										○
	橋井堂津和野共存病院			○	○					○	
	よしか病院			○	○		○			○	
	隠岐島前病院			○	○					○	
	隠岐病院			○	○					○	
	弓ヶ浜診療所(鳥取県)	○									
	済生会富田林病院(大阪府)								○		
	泉大津急性期メディカルセンター(大阪府)						○				
	与論徳洲会病院(鹿児島県)						○				
	沖永良部徳洲会病院(鹿児島県)						○				
	名瀬徳洲会病院(鹿児島県)						○				
	沖縄県立宮古病院(沖縄県)						○				
	沖縄県立中部病院(沖縄県)						○				
	沖縄県立八重山病院(沖縄県)						○				
	川崎市立多摩病院(神奈川県)		○								
	JCHO横浜保土ヶ谷中央病院(神奈川県)						○				
	済生会横浜市東部病院(神奈川県)								○		
	多可赤十字病院(兵庫県)									○	
	まどかファミリークリニック(福岡県)						○				
	浦河赤十字病院(北海道)		○								
	ひたちなか総合病院(茨城県)				○						

専門
研修
施設
群

総合診療専門医育成のためのプログラム作成・指導体制の構築

ネットワーク世話人会開催

県内で総合診療専門医の育成に携わっている指導医、プログラム責任者が適宜、各プログラムの状況の共有化、今後の方向性等について検討



総合診療医ブラッシュアップセミナー

指導医・専攻医等を対象に年1回程度開催。総合医育成に関して先進的な取り組みを行っている全国の先生による島根の研修プログラムを向上するためのセミナー



総合診療医等の研修支援

BLS研修

院内BLS講習会およびアメリカ心臓協会BLS講習会の実施



日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会・家庭医療学セミナー参加支援

学術大会、学生・臨床研修医のための家庭医療学夏期セミナー、若手医師のための家庭医療学冬期セミナーに希望者が参加、意見交換



専攻医等を対象としたセミナーの実施

しまね総合診療の集い

- ・専攻医・臨床研修医および医学生を対象に年5回程度開催
- ・複数の県内総合診療医が講師となり、地域と医療の連携、多職種連携、病院診連携等について討議
- ・ポートフォリオ作成等のケーススタディーを通して横のつながりを作る機会を設定



～新専攻医のためのオリエンテーション～



～地域病院主催イベントへの参加支援～

オキフェス



～学生ポートフォリオ検討会～



ウェスタンカーニバル



えんネット

島根県では、医師の復職支援・キャリア形成支援窓口「えんネット」が設立されています。このえんネットの協力で多くのセミナーに託児室を設けています。また、ご希望の方はいつでも支援担当者(女性医師)による個別面談を設定させていただきます。

● 相談窓口

支援担当者、就労環境や育児・介護中の働き方の相談にのります。必要に応じて専門科等の先輩医師とマッチングを行い、よりキャリアに沿った支援も可能です。

● 託児付きセミナー・トレーニング

子育て中の医師でも参加しやすいよう、多くのセミナーに託児室を設けています。島根大学病院クリニカルスキルアップセンターにてシミュレーショントレーニングの受講も可能です(託児付き)。

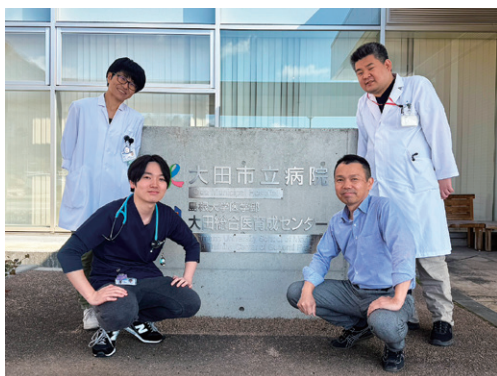
● その他

就労環境改善バックアップの為に研修会や情報提供、学生等へのキャリア教育等の様々な支援を行っています。詳しくはえんネット HP へ!



<http://www.en-net.jp>





先輩からのメッセージ

大田市立病院
総合診療科

村上 航太郎 先生



将来の自分を思い描いて選ぶ研修先

— 総合診療と救急のダブルボードを選んだ理由 —

こんにちは。

大田市立病院総合診療科の村上航太郎と申します。

私は臨床研修を島根大学医学部附属病院で2年間行い、その後同院救急×総合診療ダブルボードプログラムで研修しています。私の場合は現在医師5年目、臨床研修修了後1年間救急科研修を行い、その後総合診療科研修を行っています。総合診療科研修の修了後は再度救急科研修に戻る予定です。

今これを読んでくださっている方は多少なりと総合診療科に興味を持ってくださっている方だと思います。総合診療科は働く場所によって様々な役割を担っています。もし何科に進もうか、どこの病院で研修しようかと悩んでいる方がいれば、自分が目指す未来をイメージして選んでほしいと思っています。

私は島根県飯石郡飯南町の出身です。小さな町ですが、町立病院があり、将来的にはそこで働きたいと思っており、そのためには幅広い分野の知識が必要と考え、学生の時から総合診療科に進もうと考えていました。しかし、当然常勤の専門診療科は存在せず、常に専門医に相談できる環境ではないところへ向かう時に、やはり時間外や緊急時の対応が大切であると感じる様になり、救急科とのダブルボードを選択しました。また、総合診療科研修として大田市立病院では専門医の先生方が快く協力くださり、専門医の先生方から直接学ぶことができる貴重な環境です。

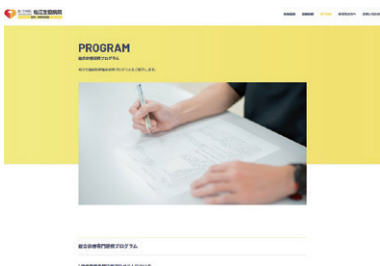
是非将来の自分の姿をイメージして、研修先を考えてください。悩んでいる人は是非話だけでも聞きに来てください。もし一緒に働ければ幸いです。

各病院の総合診療医育成プログラムWebサイト

松江生協病院



<https://www.matsue-seikyo.jp/doctor/specialized/training/>



✉ m.hakuishi@matsue-seikyo.jp

松江赤十字病院 (教育研修推進室)



<https://www.matsue.jrc.or.jp/pages/757/>



✉ kyouiku1@matsue.jrc.or.jp

島根大学医学部総合医療学講座 (大田総合医育成センター)



<https://www.shimane-gp.com/>



✉ sougou@med.shimane-u.ac.jp

県立中央病院 (臨床教育・研修支援センター)



<https://www.spch.izumo.shimane.jp/resident/recruit/kouki.html#senmop>



✉ kouki@spch.izumo.shimane.jp

出雲市民病院 (出雲家庭医療学センター)



<http://www.izumo-hp.com/katei/index.html>



✉ igakusei.icfm@izumo-hp.com

出雲徳洲会病院



<https://www.izumo-tokushukai.jp/>



✉ aki-katsube@tokushukai.jp

雲南市立病院 (キャリアサポート・育成センター)



<http://unnan-hp.jp/publics/index/159/#block1540>



✉ hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp

仁寿会加藤病院



<https://k-jinju.or.jp/medicalcare/kato-hospital.html>



✉ info@k-jinju.or.jp

済生会江津総合病院



<https://saiseikai-gotsu.jp/saiyo/general-medicine/>



✉ e-moriguchi@saiseikai-gotsu.jp

島根大学医学部 地域医療支援学講座 各プログラム病院の動画が視聴できます



✉ career@med.shimane-u.ac.jp

益田赤十字病院



<http://masuda.jrc.or.jp/recruit/3333>



✉ nagato-m@masuda.jrc.or.jp

橘井堂津和野共存病院



<https://kisseido.or.jp/>



✉ fujihara@tsuwano-hp.or.jp

島根大学医学部附属病院 総合診療医センター



<https://shimanegp.com/>

✉ shimanegp@gmail.com

松江生協病院

松江生協病院 総合診療専門医研修プログラム

連携施設 雲南市立病院、松江市立病院、県立中央病院、弓ヶ浜診療所、大曲診療所、出雲市民病院、弥栄診療所、松江赤十字病院

救急告示
災害拠点
地域医療拠点
臨床研修指定

プログラム説明動画

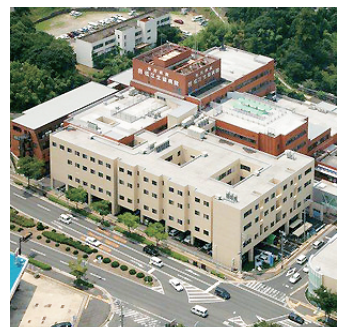


松江生協病院

施設概要

松江生協病院は、地域住民の「安心してかかることのできる病院がほしい」との願いから生まれた病院で、現在もその伝統は受け継がれています。疾病予防を目的とした組合員宅（地域住民）での健康チェックや講話には、医師や研修医も参加し、地域との絆を深めています。

また、救急・急性期から回復期・慢性期まで兼ね備え、特に松江圏域における亜急性期機能を担い、病院間の医療連携を行っています。さらに、在宅療養支援病院として、地域の在宅医療機関と連携し、在宅療養を展開している診療所や施設を支援することを重視しています。地域の医療要求に応えようと、医療技術・設備の充実を図りながら日々奮闘しています。



所在地 〒690-8522 島根県松江市西津田8丁目8番8号

院長 眞木 高之

開設者 松江保健生活共同組合 理事長 高濱 顕弘

開設年月日 1986年12月21日

病床数 351床

外来患者数 271人/日

入院患者数 323人/日

診療科目 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、脳神経内科、外科、肛門科、血管外科、脳神経外科、整形外科、麻酔科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、皮膚科、精神科、乳腺外科

医師数 41人（うち研修医6人 2025年4月現在）

処遇・募集要項

応募資格 臨床研修修了者

採用予定人数 2名

身分 正規職員（常勤職員）

給与 1 年次月額／当法人規定による
2 年次月額／当法人規定による
その他／時間外手当、日当直手当、通勤手当、住宅手当など

当直 月3～4回

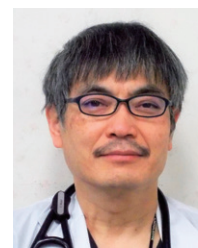
休暇 年次有給休暇 初年度10日間、
年末年始休暇 5日

社会保険等 健康保険、厚生年金、雇用保険、
労災保険、

宿舍の有無 無

指導医からのメッセージ

松江生協病院は「救急・急性期から回復期・慢性期までを守備範囲とする生活支援病院」をスローガンに掲げています。どんな疾患であっても、生活の継続に支障が生じた方ならどなたでも診療し、疾患を治すだけでなく、安心して生活が営めるようにマネージメントを行うことも心掛けています。そのため指導医は、領域別専門医であっても Common Disease に対する診療能力をベースに備えています。そういった医師の指導を受けながら、専攻医の皆さんには外来、救急、入院、検査などの実践を積んでもらい、病院総合医としての幅広い能力を身につけてもらうことを目標にしています。当院では WHO が提唱する SDH（健康の社会的決定要因）を重視しています。人々の健康条件に影響を与えている社会的、経済的背景を考慮して、診療を行うことができる能力を身に付けることも研修の目標としています。疾患の背景にあるものを含め、患者さんにアプローチしたいと考える病院総合医を目指そうと思っている方は、松江生協病院の総合診療領域の研修を是非とも選択していただければと思います。



プログラム責任者
院長

眞木 高之

研修内容

研修の特徴

本プログラムは、「地方中小病院の総合診療専門医」を育成することを目的とします。地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディーズの経験はもちろん、超高齢化社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携も数多く経験できます。

特に地域診療所との連携も強いので、文字通りの全人的医療が実践でき、超高齢化社会が進む中で必要性の高まる訪問診療や、大きな問題となる認知症に対しても、総合診療医の立場でのアプローチと学ぶ場を設定し、経時的な取り組みができるようにします。またWHOの提唱するHealth Promoting活動を通し、研修の中でも地域住民の健康増進に寄与できるようにします。



カンファレンス等

- 朝カンファレンス (毎日)
- 総合診療カンファレンス (適宜)
- 外部研修会 (適宜)
- ICFカンファレンス (適宜)
- 感染症カンファレンス (適宜)

スケジュール例

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間	1年次	総合診療専門研修Ⅱ (松江生協病院)						内科 (松江生協病院)					
	2年次	総合診療専門研修Ⅱ (雲南市立病院) (出雲市民病院)						内科 (松江生協病院)					
	3年次	総合診療専門研修Ⅰ (弓ヶ浜診療所) (大曲診療所) (弥栄診療所)						小児科 (松江市立病院) (雲南市立病院) (松江赤十字病院)			救急科 (島根県立中央病院) (松江赤十字病院)		

週間	月	火	水	木	金	土	
	AM	病棟回診	外来	病棟回診	外来	救急外来	病棟回診
	PM	救急外来	病棟回診	病棟回診	総合診療 カンファレンス	検査・処置等	
	夜間	振り返り	振り返り	振り返り	振り返り	振り返り	振り返り



その他サブスペシャリティ領域取得についての取り組み

病院総合診療専門医 (日本病院総合診療医学会)

応募連絡先

〒690-8522 島根県松江市西津田8-8-8

総合診療専門研修プログラム 担当事務

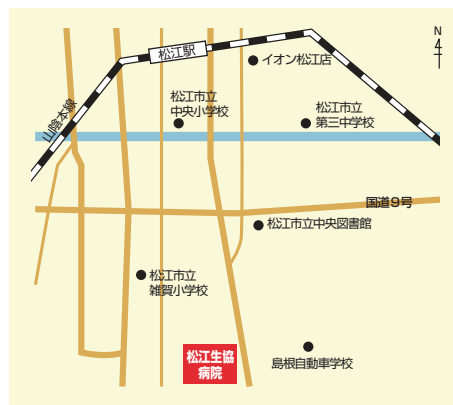
TEL : 0852-23-1111 (内) 1533

FAX : 0852-26-4104

E-mail : kensyujim@matsue-seikyo.jp

HP : <http://www.matsue-seikyo.jp/>

たちほらみか
立原 美香



JR松江駅より車で5分、山陰自動車道松江中央ランプより車で5分

松江赤十字病院

救急告示・災害拠点・がん拠点・
地域医療拠点・地域医療支援・エイズ拠点
臨床研修指定
・救命救急センター
・地域周産期母子医療センター

プログラム説明動画



松江赤十字病院

○ 松江赤十字病院 総合診療専門研修プログラム

連携施設 隠岐病院、隠岐島前病院、川崎市立多摩病院、益田赤十字病院、浦河赤十字病院

施設概要

松江赤十字病院の基本理念として「人道」の赤十字精神に基づき「地域の総合医療」、「救急医療」、「高度医療」を提供し地域に貢献することを掲げています。28の診療科が連携し、協力し合い特定の臓器や疾患に偏らない総合的な診療を心がけ、地域医療支援病院、地域医療拠点病院として地域医療機関や保健・福祉・介護施設との連携を推進して患者さんに最善の医療が提供できるように努めています。

また、24時間体制で救急車の受け入れと救急受診患者の診療、離島などからのヘリ搬送患者の受け入れを行い、地域救急・災害拠点病院としての任務を遂行しています。



所在地 〒690-8506 島根県松江市母衣町200番地

院長 大居 慎治

開設者 日本赤十字社

開設年月日 1936年4月

病床数 599床

外来患者数 757.7人/日（令和6年度）

入院患者数 430.4人/日（令和6年度）

診療科目 内科、精神神経科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器・副腎外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科

医師数 148人（令和8年1月1日現在）

処遇・募集要項

応募資格 臨床研修修了者または修了見込者

採用予定人数 2名

身分 正規職員

給与 当院規程による

当直 月2～3回

休暇 週休2日、年末年始6日間、
日本赤十字社創立記念日5月1日、
有給休暇24日（うち夏季休暇3日間）

社会保険等 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

宿舍の有無 有

× 指導医からのメッセージ

本プログラムは2022年度から新設されました。県都唯一の三次医療機関である松江赤十字病院で重症例を含めた豊富な症例を経験し、地域医療の魅力が詰まった隠岐の島で総合診療の醍醐味を味わってください。また、米国教育システムを取り入れて総合診療医育成を行っている川崎市立多摩病院（神奈川県川崎市）で、島根とは一味違う都心部の病院研修ができることも魅力です。

総合診療には幅広い知識と経験が必要です。在宅、外来、病棟、集中治療室、離島、地方都市、首都圏、様々な総合診療に触れることで総合診療医としての地力が育つと考えています。興味があれば、臨床研究や執筆も一緒にしていきましょう。皆さんと働けるのを楽しみに待っています。



プログラム責任者
救急部長

田邊 翔太

研修内容

研修の特徴

本プログラムの特徴は、どのような医療環境でも絶対に必要となる初期診療＝救急医療と、様々な場面で活躍できる病院総合医＝hospitalistの育成に力を入れていることです。

外来・一般病棟管理だけでなく、救急外来での初期診療から集中治療室への橋渡しも経験することができ、急性期医療に強い総合診療の知識を得ることができます。

また、首都圏のhospitalist育成病院での研修、離島中核病院での研修を通して、様々な環境で活躍する総合診療医から刺激を受けることができ、幅広い視野と知識を手に入れることができる環境を整えています。



カンファレンス等

- 朝カンファレンス：夜間入院患者、病棟患者について
- 夕カンファレンス：夜間待機医への申し送り、1日の振り返り
- ECCMカンファレンス：救命救急科、集中治療科の合同カンファレンス
- レクチャー：E Rの症例、症候に関するレクチャー
- ジャーナルクラブ：毎週火曜+月1回（不定期）

スケジュール例

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年 間	1年目	総合診療専門研修Ⅱ (松江赤十字病院)									内科 (松江赤十字病院)		
	2年次	小児 (松江赤十字病院)			救急 (松江赤十字病院)			内科 (松江赤十字病院)			総合診療専門研修Ⅰ (隠岐病院)		
	3年次	総合診療専門研修Ⅰ (隠岐島前病院)			総合診療専門研修Ⅱ (川崎市立多摩病院)			内科 (松江赤十字病院)					

		月	火	水	木	金
週 間	AM	朝カンファレンス・病棟	レクチャー・朝カンファレンス・外来	朝カンファレンス・外来	朝カンファレンス・病棟	レクチャー・朝カンファレンス・外来
	PM	病棟	ECCMカンファレンス・ジャーナルクラブ・病棟	外来	病棟	病棟
	夕方	夕カンファレンス	夕カンファレンス	夕カンファレンス	夕カンファレンス	夕カンファレンス

その他サブスペシャリティ領域取得についての取り組み

個人のニーズに合わせて多様なキャリア形成支援を行います。

応募連絡先

〒690-0886 島根県松江市母衣町200番地

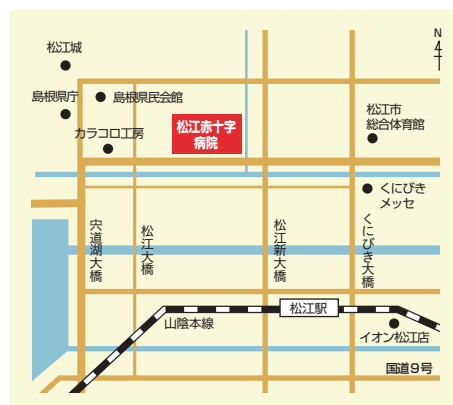
教育研修推進室 いしはら ゆみ 石原 由望

TEL：0852-24-1111

FAX：0852-32-4008

E-mail：kyouiku1@matsue.jrc.or.jp

HP：http://www.matsue.jrc.or.jp/pages/757/



JR松江駅より車で5分、山陰自動車道松江中央ランプより車で5分

島根大学医学部総合医療学講座・大田総合医育成センター

(島根大学医学部附属病院)
救急告示・災害拠点・がん拠点・
地域医療拠点・エイズ拠点
臨床研修指定
・救命救急センター
・総合周産期母子医療センター

○ 島根大学病院・大田市立病院 総合診療専門医コース

連携施設

松江赤十字病院、松江市立病院、JCHO玉造病院、出雲市立総合医療センター、県中央病院、出雲市民病院、大曲診療所、出雲徳洲会病院、大田市立病院、雲南市立病院、上垣医院、済生会江津総合病院、弥栄診療所、益田赤十字病院、橋井堂津和野共存病院、隠岐島前病院、隠岐病院、仁寿会加藤病院、よしか病院、恵和会石東病院

プログラム詳細はこちら



島大附属病院

施設概要

出雲市は、島根県の中では、松江市について人口の多い地域です。現在、出雲圏域においても他圏域同様、高齢化が進行しており、医療の需要は増大傾向にあります。多くの地域で、救急医療の充実、二次医療機関の充実に対する要望と、外来診療や在宅及び地域ケアも含めたプライマリ・ケアを担うかかりつけ医の需要があります。地域のかかりつけ医から病棟管理も含めた幅広い診療現場で活躍する人材が必要とされています。



所在地 〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

院長 椎名 浩昭

開設者 国立大学法人 島根大学

開設年月日 1979年4月1日

病床数 600床（うち一般570床）

外来患者数 1,281人/日（令和6年度）

入院患者数 531人/日（令和6年度）

診療科目 内分泌代謝内科、腫瘍・血液内科、膠原病内科、脳神経内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、呼吸器・化学療法内科、腎臓内科、消化器外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、整形外科、耳鼻咽喉科、小児科、脳神経外科、眼科、精神科神経科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、放射線治療科、産科、婦人科、歯科口腔外科、臨床検査科、病理診断科、リハビリテーション科、形成外科、総合診療科

医師数 390人

処遇・募集要項

応募資格 臨床研修修了

採用予定人数 2名

身分 研修施設先の処遇に準じる

給与 1年次月額／研修施設先の処遇に準じる
2年次月額／研修施設先の処遇に準じる
その他／

当直 研修施設先の処遇に準じる

休暇 研修施設先の処遇に準じる

社会保険等 研修施設先の処遇に準じる

宿舍の有無 研修施設先の処遇に準じる

× 指導医からのメッセージ

当コースは、島根県内各地での病院・診療所・地域の幅広い患者のニーズに応え、心おろかか、いろんなことに挑戦する、『頼りになって、少しお節介な総合診療医』を育成することを教育理念としています。これからは、総合診療医が主体的に地域で活躍することが求められる時代がやってきます。地域で求められる医師の基礎作りのための3年間となります。島根県内でも徐々に総合診療を目指す医師が増えてきています。是非一緒に、総合診療医を目指してみませんか？



島根大学医学部
総合診療センター客員准教授・
総合診療学講座特別研究員

木島 庸貴

研修内容

研修の特徴

当コースでの研修は総合医療学講座に在籍しながら、島根県各地で研修を行います。大学内で行う研修は短期間ですが、島根県内の複数の施設で合計3年間の研修を行います。離島・中山間地域を含め様々な地域で、その土地を熟知した指導者のもとで現場での研修を行います。また、オンラインで3年間継続した学習も行いながら、総合診療医としての能力を身につけます。

カンファレンス等

- 毎朝 救急カンファレンス (全科)
 - 毎週(水)午後 総合診療科カンファレンス
 - 毎週(木)午前 病棟カンファレンス
 - 毎週(火)朝 早朝勉強会 (Journal club/心電図勉強会)
 - 毎週(水)夕 家庭医療勉強会
(common disease、家庭医療のコア、ポートフォリオ作成支援、FD)
- ※島根県および鳥取県の総合診療医とのオンラインカンファレンス



スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
間	SR1	救急 (島根大学)			内科 (島根大学)			内科：3ヶ月・小児科：3ヶ月 (大田市立病院)					
	SR2	内科 (大田市立病院)						総合診療専門研修Ⅱ (大田市立病院)					
	SR3	総合診療専門研修Ⅰ (弥栄診療所)											
	医師6年目	専門医試験の受験 (島根県内で勤務する場合は、勤務しながら試験対策の準備)											

週	間	月	火	水	木	金	
		朝	早朝勉強会				
		救急カンファレンス (全科)					
	AM	病棟	診療所	領域別研修	総合診療科外来	初診/救急	
	PM	病棟	病棟	総合診療科レジデント教育	病棟	初診/救急	
	夕方			合同勉強会			



その他サブスペシャリティ領域取得についての取り組み

連携医療機関にて家庭医療専門医、病院総合診療専門医の取得が可能です。

応募連絡先

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

総合医療学講座 事務 山崎 恵美子

TEL : 0853-20-2635 FAX : 0853-20-2634

E-mail : sougou@med.shimane-u.ac.jp

HP : <https://www.shimane-gp.com/>



JR出雲市駅南口から徒歩25分(タクシー約5分)

島根県立中央病院

救急告示・災害拠点・がん拠点・
地域医療拠点・地域医療支援・エイズ拠点
臨床研修指定
・高度救命救急センター
・地域周産期母子医療センター

○ 島根県立中央病院 総合診療専門研修プログラム

連携施設

隠岐島前病院、隠岐病院、出雲市民病院、雲南市立病院、飯南病院、公立邑智病院、浜田市国保診療所群、益田赤十字病院、益田医師会病院、津和野共存病院、大曲診療所、松江生協病院、松江赤十字病院、松江市立病院、出雲市立総合医療センター、安来市立病院、平成記念病院、町立奥出雲病院、仁寿会加藤病院、浜田医療センター、済生会江津総合病院、よしか病院、ひたちなか総合病院

プログラム説明動画



島根県立中央病院

施設概要

島根県立中央病院は、県内全域を対象に、24時間体制の高度救命救急センター、地域周産期母子医療センターの役割を担うなど高度・特殊・専門医療を提供し、また、地域がん診療連携拠点病院、基幹災害医療センターとしての役割を担っています。さらには、当院を基地病院とする島根県ドクターヘリにより現場救急や転院搬送を行うなど地域医療支援を積極的に行っています。



所在地 〒693-8555 島根県出雲市姫原四丁目1番地1

診療科目

リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、内視鏡科、検査診断科、病理組織診断科、総合診療科、臨床腫瘍科、肝臓内科、精神神経科、脳神経内科、呼吸器科、消化器科、リウマチ・アレルギー科、循環器科、血液腫瘍科、内分泌代謝科、感染症科、外科、消化器外科、乳腺科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、腎臓科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、救命救急科、麻酔科、手術科、集中治療科、小児科、小児外科、産婦人科、緩和ケア科、地域総合医育成科、感染症科、臨床腫瘍科、(歯科口腔外科除く)

院長 小阪 真二

開設者 島根県

開設年月日 1940年1月

病床数 554床(うち一般520床)

外来患者数 908人/日(令和6年度)

入院患者数 446人/日(令和6年度)

処遇・募集要項

医師数

197人(歯科医師5名含む)

応募資格 医師免許証取得者で臨床研修修了者または修了見込者

当直 月3～4回程度

採用予定人数 5名

休暇 年次有給休暇20日、夏季休暇、リフレッシュ休暇、年末年始、慶弔休暇など

身分 常勤正規医師

社会保険等 地方職員共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険

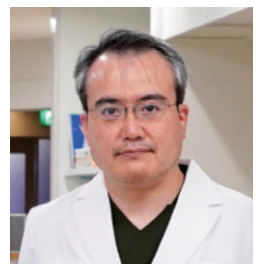
給与 3年次年額/11,932,000円
4年次年額/12,794,000円
5年次年額/12,981,000円
その他/宿日直手当、通勤手当、住居手当、
時間外勤務手当、期末手当など

宿舎の有無 医師宿舎

× 指導医 セーラの ジの

ご縁の国しまねで本物の研修をし、第一線の地域医療の現場で本当に必要とされる本物の診療能力を身につけることができます。

E R型救急や急性期専門各科を有する地域拠点病院と、ご縁の国しまねの海と山にある連携施設で、住民と協働した全人的医療を展開しつつ、自らのキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけていくことを目的としています。自治医大卒業医70余名を含む、総合医を育成した経験に則り、地域住民、各種団体、ボランティアや医療機関職員などの理解と協力のもとで本物の研修ができる環境を整え、若手医師が自分たちの未来を創造するプログラムとなることを目指します。総合診療専門医から家庭医療専門医、病院総合診療専門医などのサブスペシャリティ内科専門医のダブルボード、内科専門医からのダブルボードを目指す専門医と多様なキャリアを支えています。



プログラム責任者
総合診療部長
増野 純二

研修内容

研修の特徴

総合診療科は、幅広く外来入院診療をしており、救命救急科や急性期専門各科と協働し全人的医療を展開しています。救急科研修は、救急専門医および各専門診療科のバックアップのもと一次から三次まで、乳児から高齢者まで、安心安全な研修ができ、地域での診療の自信になります。複数の指導医のもと、感染症、がん・緩和、臨床研修、地域連携、難病診療、救急の分野で病院および地域医療のリーダーを目指した研修をしています。



地域医療では、医師が相互乗り入れで勤務する診療所と中小病院の「ブロック制」での研修を行い、地域包括ケアを業務の一環として研修が可能です。テレビ会議システムでの画像、診療支援による「地域・へき地医療支援」を体感することができます。

2022年4月に新設された地域総合医育成科および島根県、島根大学とも協力し、島根で活躍できる総合医の養成、支援をします。

カンファレンス等

総合診療科での多職種参加による定期カンファレンス（退院在宅療養支援、症例検討、テレビ会議システム利用地域医療支援）、院内研修会、地域健康教室の講師。医療倫理講習会、医療安全講習会、地域参加型カンファレンスは病院行事として実施。研修医中心の研修参加可能（救急診療レクチャー、診療手技実習、救急症例検討、臨床病理薬理カンファレンス）。褥瘡、栄養支援、緩和、感染制御、退院支援、クリニカルパスなどのチームがあり、委員として参加。

各種学会参加、発表には参加交通費補助あり。

指導医講習会や緩和医療、JPTEC、JATEC、ICLS、ACLS等の各種救急講習会参加も助成あり。

スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
間	1年次	内科 (県立中央病院・連携施設)											
	2年次	総合診療専門研修Ⅱ (県立中央病院・連携施設)						救急科 (県立中央病院・連携施設)			小児科 (県立中央病院・連携施設)		
	3年次	総合診療専門研修Ⅰ (連携病院・診療所)											

週	月	火	水	木	金
朝				救急講義	抄読会
AM	病棟内視鏡	外来	選択科研修・臨床検査	病棟・救急対応	外来
PM	退院支援検討会	緩和ケア・感染症科回診	選択科研修・臨床検査	病棟診療	病棟・救急対応
夕方			手技訓練	カンファレンス	

その他サブスペシャリティ領域取得についての取り組み

日本病院総合医学会 病院総合診療専門医
プライマリ・ケア学会 新家庭医療専門医 の平行研修が可能

応募連絡先

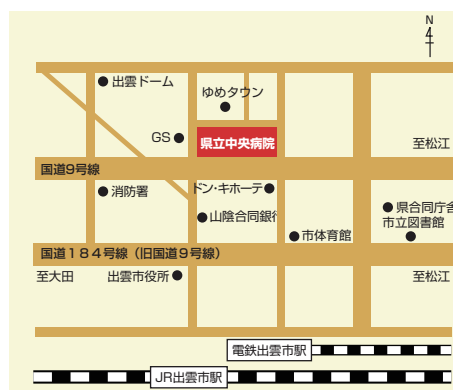
〒693-8555 島根県出雲市姫原四丁目1番地1

総合診療部長 増野 純二

TEL : 0853-22-5111 FAX : 0853-30-6437

E-mail : kouki@spch.izumo.shimane.jp

HP : <http://www.spch.izumo.shimane.jp/>



JR出雲市駅から徒歩20分、出雲空港からバス等で20分

出雲市民病院

救急告示

◎ 出雲市民病院・出雲家庭医療学センター 総合診療専門研修プログラム

連携施設 大曲診療所、県立中央病院、大田市立病院、斐川生協病院

プログラム説明書



出雲市民病院

施設概要

出雲市民病院は家庭医療科外来において、かかりつけ機能を有した中小病院というセッティングの一般外来診療を行います（質の高い慢性疾患管理、継続性を活かした診療、患者中心の医療技法の実践）。病棟は臓器別ではない一般内科の急性期・亜急性期・維持期の入院診療を行っています。大曲診療所はこの10年間、歴代の若手家庭医が所長を務め、職員全体で専攻医を育てていく総合診療の教育診療所としての大きな実績がある診療所での研修です。



所在地 〒693-0021 島根県出雲市塩冶町1536-1

診療科目 内科、消化器科、循環器科、神経内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科

院長 高橋 賢史

医師数 17人

開設者 象谷 幸正

開設年月日 1950年11月

病床数 180床（うち一般180床）

外来患者数 164人/日

入院患者数 156人/日

処遇・募集要項

応募資格 臨床研修修了者

当直 月1～2回

採用予定人数 2名

休暇 年次有給休暇 初年度10日間、夏期休暇4日、年末年始休暇4日

身分 正職員

社会保険等 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険

給与 1年次月額/477,000円（基本給+医師手当）
2年次月額/514,000円

宿舍の有無 無

その他/時間外手当、通勤手当、待機手当、病棟主治医手当(50,000円)、日当直手当(平日宿直35,000円/宿直40,000円)、住宅手当(単身25,000円/世帯主40,000円)、家族手当(1人目6,000円/2人目以降6,000円)、その他

× 指導医からのメッセージ

総合診療の専門性…とは何でしょうか？私が学生や臨床研修医の頃は総合診療を目指すにしても、なにか専門を持ったほうが良いと言われてきました。自身も一旦は臓器別専門の道を選んだのですが、今こうして総合診療を実践し、学び続けると「総合診療も一つの専門領域だ」と胸を張って言えます。学問としても、人類学、哲学なども接続する奥深い領域ですし、とにかく相談にのる Inclusive なスタイルはときに大変なこともあります。患者や家族の生活や価値観を知り支えることは、やりがいがあるだけでなく、なんだか自分も癒される不思議な仕事です。しっかり興味がある人もちょっと迷っている人も大丈夫です。一緒に学びませんか？



プログラム責任者
在宅診療部長
上村 祐介

研修内容

研修の特徴

当センターのプログラムでは、「総合診療の“専門性”を身に付け、プライマリ・ケアが実践できる」こと、そして「専攻医がそれぞれ個性を伸ばし、総合診療医としてのアイデンティティを獲得する」ことに重きをおいています。研修は出雲市民病院と大曲診療所を基盤とし、伸ばしたい能力に応じて調整します。



総合診療に必要な医学的臨床能力に加え、離島・へき地で求められるものとはまた異なる総合診療らしさ、つまり多様な文化や医療ニーズへの対応、健康格差への理解、家族志向のケア、多疾患併存や未分化な状態の連携・調整・統合などを特に学ぶことができるのが特徴です。

カンファレンス等

毎週水曜日の夜にオンラインで「家庭医療セミナー」という勉強会を開催しています。当センターの専攻医、総合診療指導医だけでなく、県内の医学生、専攻医、指導医たちが10人程度集まり行っています。家庭医療セミナーの中で定期的にClinical-Jazzと呼ばれるカンファレンスを行います。

総合診療専門研修の3年間でポートフォリオ作成を行います。専攻医のポートフォリオ作成支援、ならびに総合診療専門医として成長するためのカンファレンスで、実践経験を通して自身の振り返りを行い、指導医は専攻医の学びや気づきを引き出す声かけを意識します。総合診療専門医の言語のシャワーを浴びるClinical-Jazzを通じて、専攻医は総合診療専門医としての思考・言動・人格を身につけていきます。Clinical-Jazzは「批判しない No-blame culture」を大前提として行います。

スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	総合診療専門研修Ⅱ 6ヶ月 (出雲市民病院)							内科研修 12ヶ月 (島根県立中央病院総合診療科・大田市立病院内科)					
	ワンデイバックによる家庭医療科外来継続												
2年次	内科研修 12ヶ月 (島根県立中央病院総合診療科・大田市立病院内科)							小児科研修 3ヶ月 (大田市立病院小児科)			救急研修 3ヶ月 (島根県立中央病院救命救急科)		
	ワンデイバックによる家庭医療科外来継続												
3年次	総合診療専門研修Ⅰ (他科単位研修含む) 12ヶ月 (大曲診療所)												

その他サブスペシャリティ領域取得についての取り組み

日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医取得のための研修を連動して行います。研修終了後のフェロシッププログラムもあります。

応募連絡先

〒693-0021 島根県出雲市塩冶町1536-1
 出雲家庭医療学センター事務局 足立 祐貴
TEL : 0853-21-2722 FAX : 0853-21-8101
 E-mail : igakusei.icfm@izumo-hp.com
 HP : <https://izumo-hewcoop.jp/pages/73/>



JR出雲市駅より徒歩10分

出雲徳洲会病院

救急告示

出雲徳洲会病院 総診プログラム

連携施設 島根大学医学部附属病院 与論徳洲会病院(鹿児島県) 沖永良部徳洲会病院(鹿児島県)

プログラム詳細



出雲徳洲会病院

施設概要

出雲徳洲会病院は2006年に徳洲会グループ62番目の病院として開設しました。現在は急性期、療養、回復期、在宅医療までの医療・介護・福祉が一体となった地域密着型医療を提供しており、近隣の医療機関と連携を取りながら他病院との機能分担にも積極的に取り組んでいます。

また、徳洲会グループは「生命だけは平等だ」の理念のもと、「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会」の実現を目指しています。医療・介護を通じて社会改革運動を行い、すべての人に最適な医療サービスを提供することを基本方針とし、当院も定期的に離島などへ医師の診療応援を行っています。

地域住民の健康維持・健康増進が我々の使命であると考えています。



所在地 〒699-0631島根県出雲市斐川町直江3964-1

診療科目 内科・外科・整形外科・脳神経外科・婦人科・麻酔科・循環器内科・放射線科・リハビリテーション科・心臓血管外科・呼吸器内科・皮膚科・神経内科・泌尿器科・消化器外科・形成外科・精神科・消化器内科・病理診断科・内視鏡内科・人工透析科・総合診療科・呼吸器外科・耳鼻咽喉科・血液内科

院長 長見 晴彦

開設者 東上 震一

開設年月日 2006年4月1日

病床数 183床（うち一般89床、療養47床、回復期リハビリテーション47床）

外来患者数 270人/日（2024年度）

入院患者数 175人/日（2024年度）

医師数 30人



処遇・募集要項

応募資格 医師免許取得者で臨床研修修了者または修了見込者

採用予定人数 2名

身分 正規職員（常勤医）

給与 当法人グループ規定に準ずる
その他/時間外手当、診療手当、当直手当、住宅手当、通勤手当など

当直 月4回程度

休暇 有給休暇（初年度）15日、リフレッシュ休暇4日、年末年始12/31-1/3、育児休暇

社会保険等 健康保険、厚生年金、労災保険、医師賠償責任保険

宿舍の有無 無（住宅支援あり）

指導医 からの メッセージ

総合診療科と消化器内科を兼務している新垣（あらかき）です。検査から治療まで院内で完結できることも増え、「断らない医療」の実践が実を結び、地域の方々への貢献度は高まっているように感じています。

離島医療に力を入れている徳洲会グループですが、当院でも医師応援を実践しており、慢性的な医師不足を抱えている離島地域（鹿児島地方の島々等）への貢献は医師としてのやりがいを感じることができます。

医師の働き方改革においても当直明けは完全フリーとなっており、自分の時間を楽しむことが可能です。また、医師同士の意思疎通も取りやすく、お互いにカバーし合いながら働きやすい環境が醸成されています。

ともに学びながら、前に進んで行きましょう！



プログラム責任者
副院長

新垣 昌利

研修内容

研修の特徴

当プログラムの理念は、「断らない医療」を実践できる医師の育成です。その理念のもと、「まずは患者を診察し、適切なトリアージを行う」という臨床医としての幅広い知識と経験を習得できることが本研修での最大の目標となります。

研修の場として、離島の医療機関も連携施設となっており、総合診療医としての本領が遺憾なく発揮できる内容となっています。

また、当院の「子育て支援制度」や敷地内併設の院内保育園もあり、安心して研修できる環境を整えています。

今後は、グループ病院の連携強化を行い、魅力あるプログラムへ進化させていきたいと考えています。

カンファレンス等

- 医局会（毎朝）
- 外科・病理合同カンファレンス（毎週月曜）
- 内科・総診カンファレンス（毎週木曜）
- 消化器内科カンファレンス（毎朝、毎週金曜夕方）
- 各種学会参加など補助あり
- MSW面談（毎週金曜）



スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
間	1年目	内科 (出雲徳洲会病院)											
	2年目	総合診療専門研修Ⅱ (出雲徳洲会病院)			小児科 (島根大学医学部附属病院)			救急科 (島根大学医学部附属病院)			総合診療専門研修Ⅰ (与論徳洲会病院) (沖永良部徳洲会病院)		
	3年目	総合診療専門研修Ⅰ (与論徳洲会病院) (沖永良部徳洲会病院)			総合診療専門研修Ⅱ (出雲徳洲会病院)			総合診療専門研修Ⅰ (与論徳洲会病院) (沖永良部徳洲会病院)			総合診療専門研修Ⅱ (出雲徳洲会病院)		

週	間	月	火	水	木	金	
		AM	外来	検査	外来	検査	外来
		PM	検査・病棟回診	救急外来・病棟回診	検査・病棟回診	救急外来・病棟回診	検査・病棟回診
夕方	カンファレンス			カンファレンス	カンファレンス		
平日当直（1回/週）、土日の当直（1回/月）							

その他サブスペシャリティ領域取得についての取り組み

下記の領域において施設環境を整え、認定を受けています。

- 消化器内科
- 消化器内視鏡
- 血液

応募連絡先

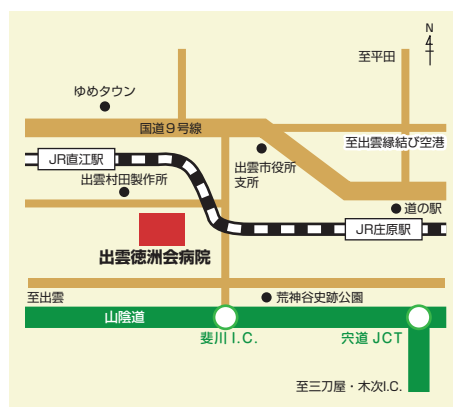
〒699-0631 島根県出雲市斐川町直江3964-1

出雲徳洲会病院総務課 勝部 亜希

TEL : 0853-73-7000 FAX : 0853-73-7077

E-mail : aki-katsube@tokushukai.jp

HP : <https://www.izumo-tokushukai.jp/student/kensyuu/>



JR直江駅から徒歩20分、JR出雲市駅から車で15分

雲南市立病院

救急告示
災害拠点
地域医療拠点

雲南市立病院 総合診療専門研修プログラム

プログラム説明動画



雲南市立病院

連携施設 雲南市立病院附属掛合診療所、町立奥出雲病院、飯南病院、まどかファミリークリニック、安来市立病院、名瀬徳洲会病院、よしか病院、県立中央病院、島根大学医学部附属病院、松江赤十字病院、松江市立病院、沖縄県立中部病院、沖縄県立宮古病院、沖縄県立八重山病院、JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院、泉大津急性期メディカルセンター

施設概要

雲南市立病院は県東部の雲南市を含む雲南2次医療圏(東京23区と同等の土地面積、圏域住民約6万人)の地域中核病院であり、地域に根差した病院として、幅広い医療を展開しています。これからの地域医療を担う人材を積極的に育成するため「地域医療人育成センター」を開設しています。また、『一人一人の健康と幸せを通して地域を幸せにすること』を理念に、持続可能な総合診療を中心とした地域ケアの構築を目指す「地域ケア科」を平成28年に開設しています。「地域に親しまれ、信頼され、愛される病院」を基本理念とし、地域住民の皆さまとともに協力し合いながら、地域医療を守っています。



所在地 〒699-1221 島根県雲南市大東町飯田96-1

院長 佐野 啓介

開設者 雲南市長 石飛 厚志

開設年月日 1948年3月1日

病床数 275床(うち一般193床、感染症4床、療養78床)

外来患者数 423人/日(令和6年度)

入院患者数 222人/日(令和6年度)

診療科目 内科、消化器科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科

医師数 38人

処遇・募集要項

応募資格 臨床研修修了者

採用予定人数 3~4名

身分 正規職員(常勤医)

給与 当院規程による
その他/時間外手当、宿日直手当、通勤手当など

当直 月2~3回

休暇 1年次15日、2年次20日、
夏期休暇3日など

社会保険等 健康保険、厚生年金、労災保険、
医師賠償責任保険

宿舍の有無 単身用8,500円、世帯用9,500円

指導医からのメッセージ

当プログラムはこれまで18名がマッチ(うち半数は女性医師)し、他医療機関からも専攻医を受け、総合診療研修の土台が整い始めました。地域に根ざした病院として、プライマリケアから高度急性期、さらには在宅医療や終末期医療まで非常に幅広い医療を行っています。また、専門医の先生が少ない当院では直接関与できる症例が多く、密度の濃い研修が可能です。

当院のプログラムの特徴としては、日々の圧倒的な症例数をもとに、専攻医が中心となって、お互いが素直に学びあい、フィードバックしあい、学びを言語化し、自身の変化へフォーカスし、自分の成長を指導医と仲間と一緒に共有していくプログラムで、現場で活躍できるマインドと実践能力を身につけます。地域の特性を十分に理解したうえで、あらゆる問題に対応でき、心のケアや療養環境にまで心を配り、患者・家族との継続したパートナーシップを構築できる真の総合診療医を育成していきます。



プログラム責任者
病院事業管理者
大谷 順

研修内容

研修の特徴

当院の研修は、初診外来、再診外来、救急外来、病棟管理、訪問診療の他、地域住民との交流の場に参加するなど雲南市に溶け込みながら幅広く学べます。プライマリケアから急性期までの様々な症例を経験することができ、高齢者の多い地域ならではの複雑な症例も多いため悩むこともありますが、学年が近い上級医や、指導医へ相談しやすい環境であり、楽しく充実した研修生活を送れます。業務の合間には抄読会や教育回診、輪読会、家庭医療勉強会などを行い臨床力の向上にむけて日々勉強しています。臨床だけではなく、診療の質の向上のために大学院に所属して研究を行い、学生や研修医を教育するなど、バランスの取れた総合診療医を目指しています。



カンファレンス等

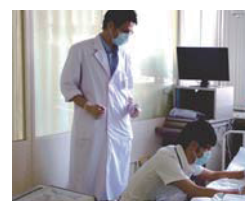
- 地域ケア科症例検討（毎日）
- ベッドサイド回診（毎日）
- 抄読会・外部研修会（適宜）
- 各種学会参加（年3回病院負担 3回以外は要相談）



スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
間	1年次	総合診療専門研修Ⅱ (雲南市立病院)											
	2年次	小児科 (雲南市立病院)※高次医療機関可			救急科 ※高次医療機関			内科 (雲南市立病院)(高次医療機関)					
	3年次	内科 (雲南市立病院)(高次医療機関)						総合診療専門研修Ⅰ (診療所・中小病院 ※選択)					

週	AM	月	火	水	木	金
間	AM	カンファレンス 外来	カンファレンス 初診外来	カンファレンス 外来	カンファレンス 検診	カンファレンス 救急
	PM	病棟	病棟	訪問診療	病棟	救急
	夕方			専攻医振返り		



その他サブスペシャリティ領域取得についての取り組み

- 基幹施設
 - 病院総合診療専門医(日本病院総合診療医学会)
 - 地域総合診療専門医(日本地域医療学会)
 - 病院総合医(日本病院会ほか)
- 連携施設
 - 新家庭医療専門医(プライマリケア・学会)

応募連絡先

〒699-1221 島根県雲南市大東町飯田96-1

キャリアサポート・育成センター かつべ たくじ 勝部 琢治

TEL : 0854-47-7529 FAX : 0854-47-7501

E-mail : hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp

HP : <http://unnan-hp.jp/>



出雲空港から自動車約20分、JR松江駅からJR出雲大東駅まで約40分、JR出雲市駅からJR出雲大東駅まで約60分、JR出雲大東駅より徒歩2分、松江自動車道 三刀屋木次ICから約15分

社会医療法人 仁寿会加藤病院

◎ 総合診療専門研修 仁寿・川本あいあいプログラム

連携施設 島根大学医学部附属病院、公立邑智病院、県立中央病院、済生会江津総合病院、在宅復帰強化型介護老人保健施設仁寿苑

災害拠点
地域医療拠点
強化型在宅療養支援

プログラム説明動画



加藤病院

施設概要

社会医療法人仁寿会加藤病院は、中国山地の溪谷、島根県の「おへそ」といってよい邑智郡に位置しています。地域住民の保健、医療、介護に関するニーズに応えるべく、疾病予防、急性期医療から慢性期医療、さらには介護サービスまで幅広く提供しています。

～加藤病院のセールスポイントとは～

- ①島根初 働く若者を支援する企業「ユースエール認定」取得
- ②山陰初 働く環境をよりよくなる企業「プラチナくるみん認定」取得
- ③川本町特産「えごま油」を使った臨床研究推進
- ④職員の健康を第一に考える企業「健康経営優良法人」認定
- ⑤仕事と家庭の両立支援「プレミアムこころカンパニー」認定



所在地 〒696-0001 島根県邑智郡川本町大字川本332-16
2026.5.1から

院長 大畑 修三

開設者 加藤 節司

開設年月日 1966年1月

病床数 81床（うち地域包括ケア病床55床 療養病床26床）

外来患者数 99.6人／日（在宅33.6人）（昨年度平均）

入院患者数 74.7人／日（昨年度平均）

診療科目 内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、神経内科、ペインクリニック内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、精神科

医師数 9人

処遇・募集要項

応募資格 臨床研修2年修了後または卒後2年以上の医師で家庭医療、地域医療に興味があるもの。医療に情熱のある方。

採用予定人数 若干名

身分 常勤医

給与 1年次月額／当法人規定に準ずる
2年次月額／当法人規定に準ずる
その他／

当直 月2回程度

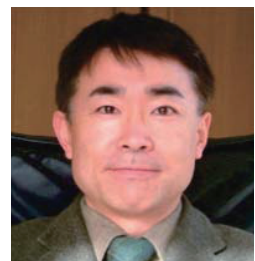
休暇 年次有給休暇14日、盆休み8/14-15、年末年始12/30-1/3、夏季休暇有り、出産、育児、介護休暇有。

社会保険等 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

宿舍の有無 有

× 指導医から メッセージの

ようこそ、仁寿会加藤病院へ。当院は1932年、川本病院を故加藤忠造が継承し加藤病院として当地域へ誕生して以来、常に地域に密着した医療を提供してきました。2011年には全国で16番目の社会医療法人（へき地医療分野）と認定されています。進むべき道、達成すべき理念として「心技体を鍛え責任を全うする」ことを示しています。「私たちが「心・技・体」を鍛えつつ「責任」を持って地域・社会に貢献することでその信頼と期待に応えようというのが私たちの目指す姿です。教えることは学ぶこと、学ぶことは教えることをプログラムの「コアバリュー」として私たち職員一同は当プログラムに参加する皆さんと会える日を楽しみに待っています。



社会医療法人 仁寿会
加藤病院 理事長
加藤 節司

研修内容

研修の特徴

1) Diversity 多様性

多様性に満ちた医学教育環境は、安心して学ぶことのできる学習環境である。田舎の在宅療養支援病院を中心に、居宅、田舎の診療所、都会の診療所、急性期・慢性期(療養型病床)の各病棟、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、グループホーム、居住系施設、さらには高度先進特定機能病院など多様な診療現場を体験することにより、様々な課題に立ち向かい解決する能力を養える。

2) Interprofessional 医療関連専門職連携

様々な健康課題を解決するためには、多様な医療関連専門職との緊密な連携が必要になる。地域においては、専門職連携を機能させる医師が必要であり、その要諦を学ぶ。

3) Interactive 教えることは学ぶこと、学ぶことは教えること

教えることは学ぶこと、学ぶことは教えること、このサイクルを継続することにより、本研修プログラムに関わる学習者・患者・家族・地域・行政全ての人々の成長を得られるものと期待される。

4) Learner centered 学習者中心

研修中の様々なツールを活用し、省察的な実践を行うことにより、キャリアセルフライアンスすなわち学習者が自ら主導して自律的にキャリア形成を行う資質に磨きをかけることができる。



カンファレンス等

- 多職種参加によるカンファレンスを定期的を実施している。カンファレンス内容(教育カンファレンス・症例カンファレンス・栄養サポートチームカンファレンス・褥瘡チームカンファレンス・リハビリテーションカンファレンス・ケアカンファレンス・在宅療養支援カンファレンス・臨床倫理カンファレンス・病床管理カンファレンス)、院内研修会の講師、地域健康教室・企業衛生委員会等での健康教育活動、JPTEC、ICLS、ACLS等各種団体のコース研修。各種学会参加。

スケジュール例

年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
間	1年次	総合診療専門研修I (社会医療法人 仁寿会 加藤病院)						総合診療専門研修II (社会医療法人 仁寿会 加藤病院)					
	2年次	内科 (島根大学病院或は島根県立中央病院)											
	3年次	救急科 (島根大学病院)			小児科 (邑智病院または島根大学病院)			総合診療専門研修I (社会医療法人 仁寿会 加藤病院)					

週	月	火	水	木	金
AM	法人朝礼 病床管理部会 訪問診療	内視鏡検査 腹部エコー検査 リハビリテーション	訪問診療*2	カンファレンス*3 巡回診療同行研修	介護老人福祉 施設配置医師 診療
PM	訪問診療*2 医師会議 カンファレンス*5 (褥瘡回診)	外来診療 予防接種*4	訪問診療	外来診療 予防接種*4	訪問診療 診療録監査*6 カンファレンス
夕方	診療録監査 一分間振り返りシート記載				



*1…通所リハビリテーションにおけるパワーリハビリテーション *2…居宅 GH 養護老人ホーム 高齢者賃貸住宅など
*3…在宅療養支援 *4…発熱外来、禁煙外来 *5…じょく創管理チーム *6…週末在宅患者申し送り

その他サブスペシャリティ領域取得についての取り組み

地域総合診療専門医プログラムあり

応募連絡先

〒696-0001 島根県邑智郡川本町大字川本 376-4*7

事務局 事務統括部 経営管理課 上田 裕一

TEL : 0855-72-3040*8 FAX : 0855-72-3039

E-mail : info@k-jinju.or.jp

HP : http://www.k-jinju.or.jp/



*7…2026.5.1から *8…事務局直通



旧JR 三江線 石見川本駅より徒歩5分

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 島根県済生会江津総合病院

○ 島根県済生会江津総合病院 総合診療専門プログラム

連携施設 松江赤十字病院、島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、公立邑智病院、仁寿会加藤病院、浜田医療センター、済生会横浜市東部病院、済生会富田林病院、船津内科医院、花田医院

救急告示
災害拠点
地域医療拠点

プログラム説明動画



江津総合病院

施設概要

当院は、社会福祉法人恩賜財団済生会の県支部である島根県済生会として、浜田圏域における保険・医療・介護・福祉を担っており、急性期医療から在宅支援まで一貫したサービスを提供しているケアミックス型の病院です。

ほぼ同一敷地内に総合病院、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、介護医療院の4施設を運営し、訪問看護ステーション、訪問リハビリテーション等の在宅サービス事業も幅広く展開し、医療・介護・生活支援を一体的に提供する地域完結型の体制を構築しています。



所在地 〒695-8505 島根県江津市江津町1016-37

診療科目 内科（糖尿・内分泌・一般内科）、消化器科、循環器科、呼吸器科、神経内科、腎臓内科、小児科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、精神科

院長 中澤 芳夫

開設者 支部長 木村 清志

医師数 13人

開設年月日 1955年4月

病床数 許可病床172床（稼働数137床：一般37床、地域包括40床、療養60床）、介護医療院40床

外来患者数 外来患者数：211人/日（令和7年度）

入院患者数 入院患者数：129人/日（令和7年度）

処遇・募集要項

応募資格 臨床研修修了者または修了見込み者

当直 3回程度/月

採用予定人数 2名

休暇 年次有給休暇20日、夏季休暇4日、各種特別休暇あり（慶弔、介護、子の看護他）

身分 常勤医

社会保険等 健康保険、厚生年金、労災保険他

給与 当院給与規定による（経験年数に応じて支給額を決定）
1,200万円～1,400万円程度 ※諸手当含む

宿舎の有無 医師住宅貸与（14,000円/月）

× 指導医 から の

専門研修の際に、生後2か月から始まるワクチン接種時には乳児の健康と発達だけではなく、両親の健康状態も併せてみる様にと言われました。その時は家族も含めてみるのが重要くらいにしか思いませんでしたが、実際に子どもが生まれてその言葉の重みが良くわかる様になりました。2時間おきの授乳に加え、少しの音でも起きてしまう乳児と向き合う両親は生後2か月のワクチン接種開始頃には疲れが溜まり、産後うつ発症率も高くなります。自身の子育てを通して初めて、心の底から『お疲れ様です。しんどい事はないですか？』と聞ける様になりました。

この様に、日々の自分の暮らしを明日からの診療に活かす事が出来るのが、総合診療の良い点だと思います。多職種と連携しながら患者さん一人ひとりの生活に寄り添う医療と一緒に実践して下さる皆さんをお待ちしています。



プログラム責任者
総合診療科部長/
入退院支援・地域連携センター長

上野 伸行

研修内容

研修の特徴

ケアミックス型の中規模病院である当院を中心に、大規模病院から近隣開業医、また、同法人が運営する福祉施設での研修も充実しており、急性期医療から慢性期を経て在宅医療に至るまでのシームレスな研修により、幅広い知識と経験を修得していただけます。

多くの職種が連携し、患者一人ひとりの生活に寄り添う医療を心がけており、医療・介護・福祉の視点をもったチームアプローチの中で、多職種連携や全人的なケアの重要性を実感しながら学ぶことができます。



カンファレンス等

- 総合診療カンファレンス（毎日）
- 病棟カンファレンス
- 多職種カンファレンス
- 院外講師によるレクチャー・多職種勉強会（適宜）
- 各種学会参加・発表（参加交通費補助あり）



スケジュール例

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間	1年次	内科 (江津総合病院・浜田医療センター・済生会富田林病院)						総合診療専門研修Ⅰ (船津内科医院・花田医院・加藤病院・済生会富田林病院)					
	2年次	小児科 (松江赤十字病院・県立中央病院・浜田医療センター・邑智病院・済生会富田林病院・済生会横浜市東部病院)			救急科 (松江赤十字病院・県立中央病院・島根大学病院・済生会富田林病院・済生会横浜市東部病院)			内科、産婦人科などのその他領域別 (江津総合病院・済生会富田林病院)					
	3年次	総合診療専門研修Ⅱ (江津総合病院・邑智病院・加藤病院・済生会富田林病院)											

	月	火	水	木	金	
週間	朝	総診カンファレンス	総診カンファレンス	総診カンファレンス	総診カンファレンス	総診カンファレンス
	AM	病棟	外来	外来	多職種カンファレンス	病棟
	PM	救急外来	救急外来	病棟	病棟	訪問診療
	夕方		院外講師等レクチャー			カンファレンス

その他サブスペシャリティ領域取得についての取り組み

個々のニーズに合わせたキャリア形成支援を行います。

応募連絡先

〒695-8505 島根県江津市江津町1016-37

総務課人事係 森口 恵里

TEL : 0855-54-0101 FAX : 0855-54-0171

E-mail : g-ishi@saiseikai-gotsu.jp

HP : <http://www.saiseikai-gotsu.jp/>



JR江津駅より徒歩10分

益田赤十字病院

救急告示・災害拠点・地域医療拠点・
地域医療支援・エイズ拠点
臨床研修指定
・地域周産期母子医療センター

益田赤十字病院 総合診療専門研修プログラム

プログラム説明動画



益田赤十字病院

連携施設 島根県立中央病院、島根大学医学部附属病院、松江赤十字病院、益田地域医療センター医師会病院、津和野共存病院、隠岐広域連立隠岐病院、隠岐広域連立隠岐島前病院、よしか病院、多可赤十字病院

施設概要

当院の位置する島根県西部は高齢化、過疎化が特に進んでおり、包括的な医療を提供する必要性が高くなっています。また、多臓器の疾患を抱える患者様も多く、総合診療医の育成が急務となっています。当院は救急告示病院として2次救急を受け入れている急性期医療機関であるため専門分化していますが、地域の特性上総合診療のニーズが高いため、当院を基幹施設として島根県内の連携施設と協力して総合診療医を育成します。



所在地 〒698-8501 島根県益田市乙吉町イ103-1

院長 青木 明彦

開設者 日本赤十字社

開設年月日 1954年4月1日

病床数 284床（一般276床、結核4床、感染4床）

外来患者数 632.7人/日

入院患者数 240.6人/日

診療科目 内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、循環器科、小児科、外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、膠原病リウマチ内科、消化器外科、整形外科、救急科、眼科

医師数 60人（うち研修医11人 2025年12月現在）

処遇・募集要項

応募資格 臨床研修修了者

採用予定人数 2名

身分 正規職員（常勤医）

給与 当院規定による
その他/通勤・扶養・住宅・特殊勤務手当など

当直 月0～2回

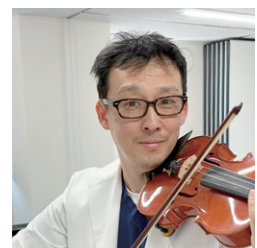
休暇 有給24日（夏休み3日を含む）、
各種特休有（慶弔他）

社会保険等 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

宿舍の有無 無

× 指導医 ツッセイ セーラの ジの

島根県益田市は慢性的な医療不足に悩まされており医療崩壊の危機にあります。おそらく、全国でこのような医療圏域は多くあることでしょう。地域における医療崩壊を含めた様々な問題に対し、我々は「負けることの許されない挑戦」と位置づけ立ち向かっています。その挑戦とは「地域から求められる医療」に全力で応えることであり、一般的な総合診療の枠を超え、救急医療、感染症診療、整形疾患 etc. あらゆることに若い力とともにチャレンジをしています。みなさんも、益田赤十字病院で「青春の熱い汗」を共に流しませんか？



プログラム責任者
総合診療科部長

岡本 栄祐

研修内容

研修の特徴

当院のプログラムは、内科系疾患のみならず小児からお年寄りまでの幅広い疾患に対応できる総合診療医の育成を目指しています。さらには、指導医とともに初期臨床研修医や医学生の指導を行うことで、リーダーシップやコミュニケーション力、判断力や技術の向上も目指しています。患者背景を踏まえた治療方針の決定や病病連携、福祉や介護との関わりなどを多面的に考え対応できる医師となれるようサポートします。医療資源が限られた中での地域医療を経験していただき、スキルアップを目指します。



カンファレンス等

- 総合診療科カンファレンス（毎日）
- ASTカンファレンス
- 多職種カンファレンス

スケジュール例

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年 間	1年次	内科（益田赤十字病院・津和野共存病院）											
	2年次	総合診療専門研修Ⅱ（益田赤十字病院・益田医師会病院・島根大学・島根県立中央病院・隠岐島前病院・津和野共存病院）											
	3年次	小児科 （益田赤十字病院・ 松江赤十字病院）			救急科（益田赤十字病院・ 松江赤十字病院・島根大学・ 島根県立中央病院）			総合診療専門研修Ⅰ （津和野共存病院・益田医師会病院・隠岐病院・ 隠岐島前病院・よしか病院・多可赤十字病院）					

週 間	月	火	水	木	金
	AM	病棟回診	外来	救急外来	検査業務
PM	カンファレンス	救急外来	病棟回診・AST	カンファレンス	病棟業務

その他サブスペシャリティ領域取得についての取り組み

効率的なキャリア形成が可能となるようサポートします。

応募連絡先

〒698-8501 島根県益田市乙吉町イ103-1

総務課 教育研修係 ながと みどり
長戸 緑

TEL：0856-22-1480

FAX：0856-22-3991

E-mail：soumu-kakari@masuda.jrc.or.jp

HP：http://masuda.jrc.or.jp/



JR益田駅より徒歩20分（タクシーで5分）

医療法人橘井堂 津和野共存病院

災害拠点
地域医療拠点

○ 津和野共存病院 総合診療専門研修プログラム

連携施設 益田赤十字病院、島根県立中央病院、松江赤十字病院、正公会松ヶ丘病院

施設概要

津和野共存病院(在宅療養支援病院)は町内唯一の病院であり、津和野共存病院を運営する法人は、津和野共存病院の他に、診療所、介護老人保健施設、訪問看護、在宅専門診療所を有し、外来、救急、入院、介護入所、退院後は訪問診療と一連の医療が提供でき、また行政の地域医療対策課(地域包括支援センターを含む)が病院内に設置してあり行政とともに地域の課題を解決し地域包括ケアをリアルタイムに実践しながら指導医と学び合い成長の場として総合診療医の研修が受けられ、都市部と郡部の個性豊かな病院での経験を積むことができる施設です。



所在地 〒699-5604 島根県鹿足郡津和野町森村口141

院長 木谷 光博

開設者 津和野町長 下森 博之

開設年月日 2009年1月

病床数 49床 (一般49床うち地域包括ケア病床36床)

外来患者数 77人

入院患者数 39人

診療科目 内科、神経内科、循環器内科、放射線科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、精神科、心療内科

医師数 常勤医師 8人

処遇・募集要項

応募資格 臨床研修修了者

採用予定人数 2名

身分 常勤医

給与 1 年次月額/法人規定による
2 年次月額/法人規定による
その他/時間外手当、宿直手当、通勤手当

当直 有 (月4回程度)

休暇 年次有給 (法定通り)、年間休日122日 (年未年始、盆休暇含む)、慶弔休暇、産前産後休暇、出産のための休暇(夫)あり、育児・介護休業、子の看護休暇 有給あり、介護休暇 有給あり

社会保険等 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

宿舍の有無 宿舍の有無 有 (単身用 20,300円、世帯用 36,800円)

× 指導医 セーラの

津和野町は、大正8年に日本で初めて農業組合による診療所を開設された農村医療の先覚者大庭政世氏の生まれ故郷で、農村医療発症の地です。高齢化率50%の少子高齢化の進んだ地域では、地域包括ケアを念頭に置きながら、医療モデル(治す医療)から生活モデル(治し支える医療)への転換が必要と考えられています。患者さんにとっては学生医も研修医も院長も同じ医師です。外来、入院、訪問診療、巡回診療、訪問看護、訪問リハビリ、地域包括支援センターなどで地域住民である患者さんを通じて多職種と連携し、その中で、まずは地域を知る、そして、多くの人と交流し、医療人としての技量、知識を地域住民の皆様に提供し、他方、多くの人生経験や生きるすべを学ぶ姿勢も養ってもらうようにしています。津和野と一緒に地域医療を学びましょう。

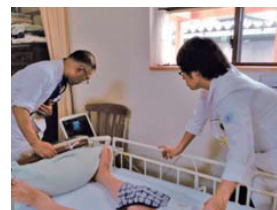


プログラム責任者
副院長
飯島 献一

研修内容

研修の特徴

日本における高齢化の再先端の地域で、地域包括ケアが実践できる総合診療専門医を養成するために、医療介護施設内及び地域の多職種と連携をとりながら全人的医療に携わり、島根県の同一二次医療圏域や県内の高度医療機関での研修サイトもローテートしながら複数の総合診療のロールモデルと出会い研修を積むことができる研修体制を整備しています。



カンファレンス等

- 毎朝病棟で朝礼後に医師、看護師、理学作業療法士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーでミニカンファレンス
- 毎日夕方医局で振り返りカンファレンス
(新入院のプレゼン、外来、入院患者の困難ケース、重症ケースの情報共有)
- 益田赤十字病院、島根大学病院指導医からの月1回研修指導及びまめネットによるケース検討やオンラインカンファレンス
- 学会活動：年1回学会参加
(日本プライマリケア連合学会、日本地域医療学会、日本内科学会総会、地方会)



スケジュール例

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年 間	1年目	総合診療専門研修Ⅰ (津和野共存病院)											
	2年目	総合診療専門研修Ⅱ (津和野共存病院)						内科 (津和野共存病院)					
	3年目	小児科 (益田赤十字病院) (島根県立中央病院) (松江赤十字病院)			総合診療専門研修Ⅱ 救急科 (益田赤十字病院) (島根県立中央病院) (松江赤十字病院)			総合診療専門研修Ⅱ、婦人科、外科、整形外科 (益田赤十字病院) (島根県立中央病院) (松江赤十字病院)					
	4年目	精神科 (松ヶ丘病院)											

その他サブスペシャリティ領域取得についての取り組み

地域総合診療専門研修プログラム認定施設
研修プログラム名 つわの医人の道プログラム



応募連絡先

〒699-5604 島根県鹿足郡津和野町森村口141
医療法人 橋井堂 総務課 なかのみずえ たむらしんいち 中野水枝・田村真一
TEL : 0856-72-0660 FAX : 0856-72-0774
E-mail : nakano@tsuwano-hp.or.jp
HP : <http://kisseido.or.jp>



JR津和野駅より徒歩20分

日本の総合診療分野の専門医制度確立は、世界的にも遅れています。しかし日本でも高齢化など社会構造の大きな変革や国民のニーズなどから、社会全体から総合診療専門医がますます求められています。

島根県では、2011年に総合診療系専門医の育成を目指す医療機関が連携を図るために、ネットワークをつくり、2014年からは総合診療専門医育成ネットワークに改変し、医療機関、大学、行政等が一体となって専門医の養成に取り組んできました。

一方、日本の医師の専門医制度は抜本的な見直しが行われ、平成30年度から新たな専門医制度が構築されることになり、基本領域の専門医として総合診療専門医が位置づけられることになりました。これらを受けて、県内各プログラムをリニューアルし、専門医の育成を強化しております。

現在、専門医機構認定の総合診療専門医プログラムは県内11施設あり、専攻医が所属して、修練を積んでいます。

このネットワークでは、世話人会を定期的で開催し、各プログラムをブラッシュアップしつつ、連携を強化するとともに、指導医のためのFD開催、全国研修会への参加支援、専攻医向け研修会開催等様々な取り組みを行っています。さらに後継者育成のため、専攻医・臨床研修医および医学生を対象とした「しまね総合診療の集い」を開催してきました。これらの参加者の中から総合診療専門医も出てきています。

興味のある方は、総合診療医に関係した様々な取り組みを実施していますので、参加してみませんか？

みなさん 総合診療を 島根で共に学びましょう！！

令和8年4月

島根総合診療専門医育成ネットワーク

世話人代表 **谷口 栄作**

(島根県健康福祉部 医療統括監)

島根県について

島根県の高齢化率は昭和 50 年から平成 21 年まで 35 年連続で全国第 1 位、平成 22 年から 23 年までは第 2 位、24 年から令和元年までは第 3 位、令和 2 (2020) 年の国勢調査でも高齢化率は 34.2% で全国 4 位(全国平均 28.8%) と高い水準であり、さらに最新の推計(令和 4 年、内閣府「令和 5 年版高齢社会白書」)でも高齢化率 34.7%・全国平均 29.0% の中で全国第 7 位となっています。従来から全国有数の高齢県で、日本全体の高齢化の 10~20 年先を走っています。日本が今後迎える長寿社会の医療を、今、ここ島根で学んでみませんか。

さらに、島根は衣食住環境もとても良く、都会からのアクセスも便利です。島根の魅力の一部をご紹介します。島根にぜひお越しください。お待ちしております！

食べ物

島根を代表する味覚と言えば出雲そば・しじみ・仁多米・しまね和牛。さらに冬の味覚の松葉がに・のどぐろ・寒ブリ…等々、また日頃から新鮮でおいしい野菜や果物もたくさん食べられます。

観光地

縁結びで有名な出雲大社・世界遺産 石見銀山・世界ジオパークに認定された隠岐諸島そして世界的に高い評価を受けている庭園(表紙)を有する足立美術館など、島根には世界に認められた魅力的な観光地があふれています。

温泉

美肌県島根には、古代からこんこんと湧く玉造温泉をはじめとする、約 40ヶ所の温泉地があります。美白でなめらかなお肌に大変身すること間違いなしです。



出雲大社



石見神楽



しまね海洋館アクアス
「幸せのバブルリング」®



玉造温泉



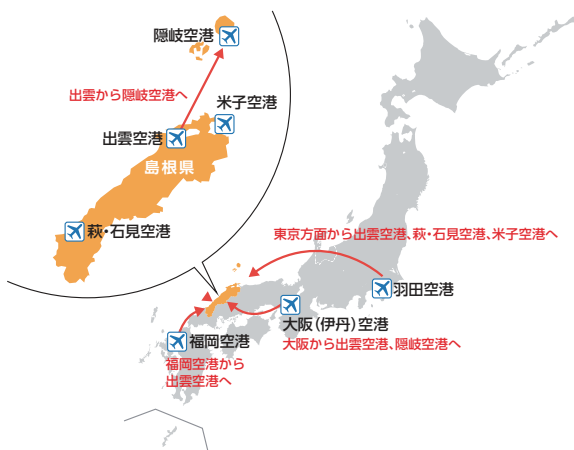
冬の味覚「のどぐろ」



ローソク島 (隠岐の島)

島根へのアクセス

島根県へは飛行機でのアクセスも便利です。出雲空港、萩・石見空港、隠岐空港と県内3つの空港にくわえて、隣接する鳥取県の米子鬼太郎空港の利用も可能。国内各主要都市から定期便が就航しています。



● 空港

出雲空港 東京 5 往復 (1 h 20m)、大阪 4 往復 (45m)、名古屋(小牧) 3 往復 (55m)、中部国際 1 往復 (1 h)、福岡 2 往復 (1 h 15m)、静岡 1 往復 (1 h 10m)、

萩・石見空港 東京 2 往復 (1 h 30m)

隠岐空港 出雲 1 往復 (30m)、大阪 1 往復 (45m)

米子鬼太郎空港 東京 6 往復 (1 h 20m)

※ 便数・所要時間は 2025 年冬ダイヤをもとにした目安であり、季節や曜日により変更される場合があります。

● 鉄道

松江～岡山 特急「やくも」(2 h 35m)

松江～岡山～大阪 特急「やくも」～新幹線 (3 h 30m)

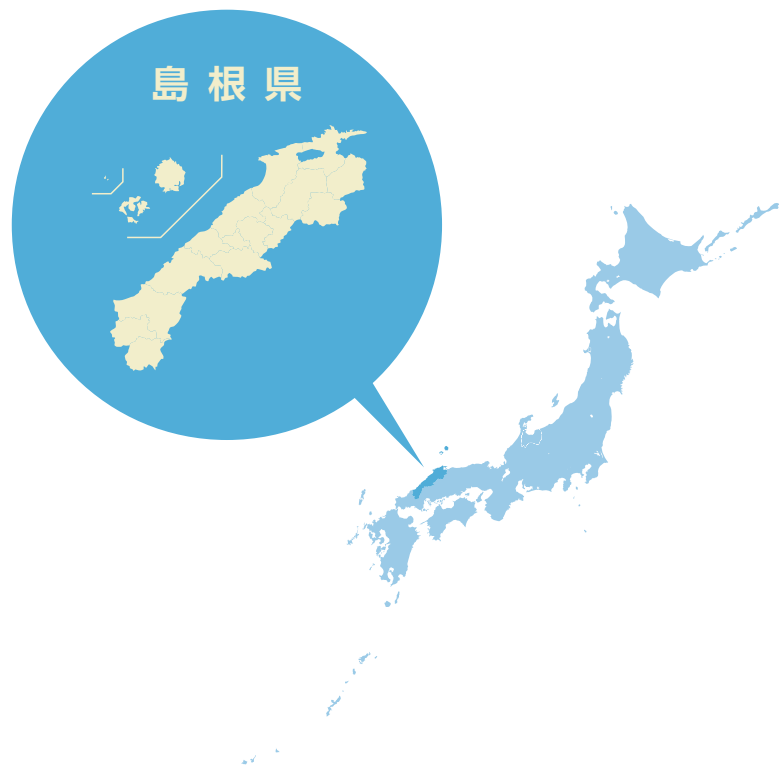
浜田～新山口 特急「特急スーパーおき」(2 h)

東京～出雲市 寝台特急「サンライズ出雲」(12h)

● 車 (高速道路利用)

浜田～広島 (1 h 30m)

松江～広島 (2 h 10m)



島根総合診療専門医育成プログラムパンフレット 第9版

発行日 2026年4月1日

発行者 島根総合診療専門医育成ネットワーク

〒693-8501

島根県出雲市塩冶町 89-1 島根大学医学部地域医療支援学講座内

TEL : 0853-20-2558 FAX : 0853-20-2563

E-mail : career@med.shimane-u.ac.jp

冊子PDF 当冊子のPDFが島根大学医学部地域医療支援学講座HPに掲載されています。

<http://www.communityshimane.jp/>

第1版2012年10月・第2版2013年6月・第3版2015年3月・第4版2016年9月発行・第5版2018年1月・第6版2019年2月・第7版2020年8月
第7-1版2021年3月・第8版2022年8月